

七ツ洞公園のある《国田》 ホタルの里《国田》

住みよい国田の まちづくり計画

国田地区自治実践会

2017.3



住みよい国田のまちづくり計画策定 にあたって

1974年（昭和49年）に開催された茨城国体を契機に、河川清掃や花いっぱい運動・フラワーロードに象徴される環境美化運動や、お父さんソフトボール・ママさんバレーボール大会など、小学校区ごとにはじまり、のちに空き缶やゴミのノーポイ運動・青少年の非行やいじめ防止運動・あいさつ運動など住民のふれあいを深める地域活動が展開されました。

この間国田地区においては、各種地域活動を展開し、住みよいまちづくりを推進してまいりました。平成7年4月には、国田小中併設校が開校し、県内で最初の小中一貫教育ということで注目されました。当時、児童・生徒合せて343人おりましたが、現在169人と15年間に約半数になってしまいました。国田地区の常住人口は、平成12年10月1日現在、2,982人（835世帯）あ

りましたが、平成22年11月1日の調べでは2,641人（921世帯）と10年間で341人減少しております。世帯数では86世帯増加しておりますが、1世帯あたり3.57人から2.87人に減少しております。このような人口減少は、核家族化や高齢化が加速しているため、これからは安全安心で快適な住みよいまちづくりを目指して参ります。地域を知りつくしている住民が郷土愛を培い、自らが主役となってさらなる地域活動の発展のために、未来に向けて目標を明確にし、地域コミュニティ活動の推進を図ることが必要です。

住みよい国田のまちづくり計画策定 までのいきさつ

昭和60年代の初め、それまで水戸市におけるコミュニティ活動の母体をなす、水戸市自治連合会と水戸市民憲章推進協議会の2つの住民組織があり、統一しようという機運が起こり、地区会が設立されるとともに、平成8年に各地区会の会長を理事とした中央組織の「水戸市住みよいまちづくり推進協議会」が設立されました。

国田地区自治実践会は、平成8年に設立し、多くの住民参加のもとに、安全・安心のまちづくりや住民のふれあいを深める行事などを中心に行ってまいりました。平成17年度には、住民が主役となり住民自治や地域振興を推進するため組織の見直しを図り、地区会の中に事務局・企画室を開設し、市内でも先駆的・主体的なコミュニティ活動を展開してまいりました。なかでも、三の丸地区との友好交流地域提携を結び、地域間交流事業を展開していることや、ホームページを開設し、行事予定や事業報告を地域の方々にお伝えするとともに、月刊「国田ふるさとかわら版」を全世帯に配布し、地域コミュニティ活動の周知を図っております。さらに、地域コミュニティを推進するため、2010年7月からコミュニティ策定委員会を設置し、課題解決や今後の地域活動の方向性を示すため「住みよい国田のまちづくり計画」を策定しました。

住みよい国田をめざして

少子高齢化、人口の減少、核家族化が進行する中でお互いを思いやり、ともに支えあって安心して暮らせる地域社会づくりが求められています。

地域においては、地域ぐるみでの子育てや高齢者の支援、地域における環境問題等の社会的課題や地域で抱える課題の解決に向けて、地域自らが学びながら実践し、よりよい地域づくりに取り組んでいかなければなりません。このため、国田地区のまちづくりの目標として6項目を掲げ、多種多様なニーズを長期的視点に立って効果的に地域活動をすすめるための住みよい



国田のコミュニティプランを作成するものです。地域住民が地域づくりの主体として、自主・自立の精神に基づき、民主的で開かれた地域コミュニティを形成するとともに、教育や福祉をはじめとするあらゆる分野においてより豊かで活力ある地域づくりに向けた地域コミュニティ活動をめざします。

2. 楽しく生きがいのあるまちづくり

楽しく快適で安全な生活が送れるよう、地域経済や農業の振興などを、地域ぐるみで考え、また三の丸地区との地域間交流事業を推進し、地域の活性化を図ります。

- 地域経済発展に寄与する事業の展開を考える(農政協力員・JAとの連携)
- 農産物の生産促進(稲作経営の多様化への取り組み)
- 地産地消の推進
- 地域活性化に寄与する事業の計画及び実行
- 地域間交流事業の促進(田植祭・収穫祭・各種事業での交流)
- 国田夏祭りの開催

3. ホタル舞うきれいなまちづくり

年間を通してゴミ減量・花いっぱい運動の推進や、清掃活動に心がけ祖先が遺したきれいな自然を守り受け継ぎ、国田小・中学校との連携をはかりながらホタル舞うきれいなまちづくりに努め、郷土愛を培う。またこれらの自然を生かし、都会では味わえない体験事業を展開し、地域間交流につなげます。

- 環境美化運動と清掃活動の実施
- ごみ減量、リサイクル運動の推進
- 七ツ洞公園の美化促進
- 国田大橋の美化運動
- ホタル観察会の開催
- 那珂川クリーン作戦の実施
- 花苗配布と花壇コンクールの実施

☆ 国田地区の地域づくりビジョン ☆

- ◎ 共に楽しむふれあいのあるまちづくり
- ◎ 楽しく生きがいのあるまちづくり
- ◎ ホタル舞うきれいなまちづくり
- ◎ 安全・安心なまちづくり
- ◎ 生き生きと暮らす福祉の充実したまちづくり
- ◎ コミュニティを高めるまちづくり

1. 共に楽しむふれあいのあるまちづくり

生きがいづくりや健康で充実した人生を送るためには、住民ひとり一人が「学び」を通して、知識や技術を高めることは、豊かで潤いのある生活を営むうえで大切なことです。さらに、国田地区は田谷の棒術を始め、剣道、ドッジボールや卓球などスポーツが盛んな地区であり、スポーツを通してコミュニケーションを高め地域住民のふれあいを図り、あわせて体育向上に努めます。

- 市民体育祭の開催(運動会・歩く会)
- 生涯学習に関する意識啓発
- 伝統文化の伝承
- 生涯学習フェスティバルの開催
- 各種講座の開催
- 家庭教育・高齢者・女性学級の支援
- 郷土かるた大会の実施
- お父さんソフトボール大会の開催
- 地域スポーツの調査研究
- サッカー教室の開催
- ママさん・ミックスペレーボール大会の開催

4. 安全・安心なまちづくり

地域住民の生命や財産を守るため、市民センターを利用した避難所の開設や、地震や水害、その他の災害を想定し、「防災・防犯の集い」を実施し被害の防止や防災・防犯に関する意識啓発に関係機関の協力を得て積極的に進めております。自主防犯活動については、防犯関連の各種団体で組織し、子どもたちを事件・事故から守ること、安全・安心な生活を守ることを目的に、防犯パトロールや危険箇所での立哨など、防犯事故防止活動を推進します。

また、交通事故や水害にあわないよう道路・堤防の整備促進を図ります。

- 防災防犯に関する意識啓発
- 社会環境浄化活動の推進
- 子どもの安全を守る家の推進
- 農業集落排水事業の促進
- 道路整備の促進(狹隘道路の解消)
- 堤防整備の促進
- 災害時要援護者の支援
- 緊急連絡網の集約
- 危険箇所マップの作成
- スクールガードの充実
- 災害時の避難マップの住民への周知

6. コミュニティを高めるまちづくり

国田地区自治実践会のコミュニティ活動が、より多くの住民の参加やご理解を得るためには、住民の声が反映する組織づくりや、魅力があり参加したくなる事業の実施、誰もがわかる情報の共有・提供、アンケートの実施による希望・要望の把握など無理のない形で住民主体のコミュニティ組織が形成されるよう地域住民が一体となって課題解決に向けて努力する必要があります。また、地区会と行政が連携し、国田地区発展のために協働のまちづくりを進めて参ります。



- 役員会(連絡調整・月2回)
- かわら版(会報)の発行(毎月)
- 実践会ホームページの充実
- 広報誌「ひまわり」の発行(年2回)
- 学校と地域との協働事業の研究
- 公共交通の研究(利用促進)
- 地域間交流事業の研究
- コミュニティビジネスの研究
- 指定管理者制度導入への検討
- 七ツ洞公園誘客数増加への環境整備促進
- 地域ボランティア人材センターの設置

5. 生き生きと暮らす福祉の充実したまちづくり

国田地区の65歳以上の人口割合は、山根地区、新庄地区について第3番目に高齢化が進んでおり、地区内総人口の27.8%を占めています。このような高齢化社会だからこそ、住民ひとり一人が奉仕の心や助け合いなど地域のふれあいを高め、生き生きと暮らせるよう関係機関との連携をはかりながら福祉の充実したまちづくりに努めます。

- 子育て支援活動の展開
- 施設慰問と各種奉仕活動の実施
- 地域福祉活動への協力
- 敬老会の開催
- ひとり暮らしの高齢者ふれあい食事会の開催
- 社会福祉関連施設の導入

国田の誇れる景観



(国田大橋)



(七ツ洞公園)



(那珂川水系)



(田園地帯)

国田地区の歴史

明治22年4月1日市制・町村制が施行された。国田地区では、連合村制の上国井村・下国井村の国の1字と田谷村の田の1字を組合わせて国田村と名づけ、新しい「村」が誕生した。その後、昭和28年9月市町村合併促進法が交付され、教育に関する住民の深い関心から、柳河村の水戸市への合併、戸多村の那珂町への合併が実現し、国田村民は水戸市編入の方が我が村の将来のため得策ではないかという意見の一致に達した。国田村議会は昭和32年3月22日臨時議会を開き、国田村を水戸市に編入することについて村長より提案され、同日議決された。その年の6月1日に水戸市へ合併した。
(国田史抜粋)

コミュニティとは

居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会のこと。